

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	パラドックス・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.057	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：パラドックス・パール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 番

5 インチ

研磨剤

比較対照ボール：パラドックス

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

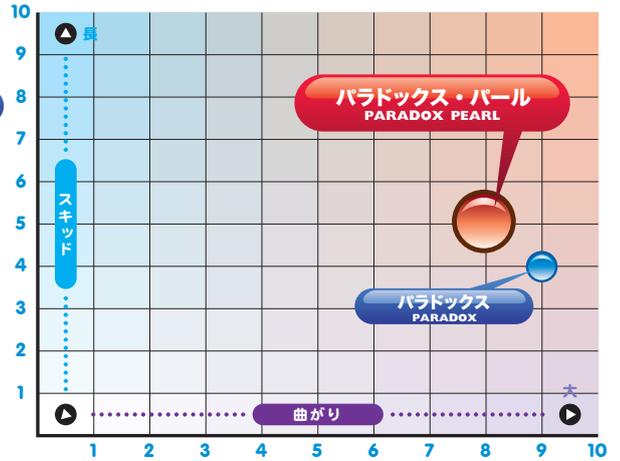
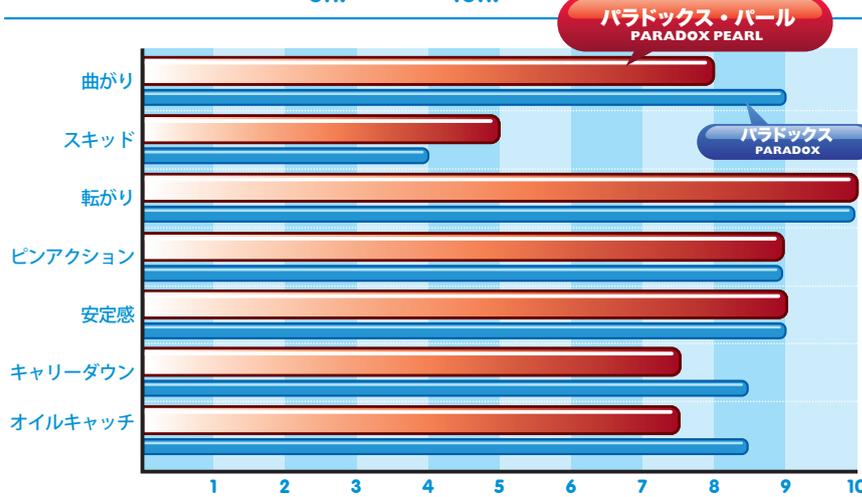
PAPからピンとの距離 番

5 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

PARADOXで世界に発表された新開発のSSF 72 Reactive(Super Soft Flexible)は、分子結合を広げ特殊な凹凸を形成することで表面を柔らかくしてピンアクションまでも柔らかくするテクノロジーでした。転がりを重視させたCoreとキャッチを重視したCoverstock。多くの方にそのパフォーマンスの良さを感じて頂けたと思います。ABSボール開発チームはPARADOX発売以降もTRACK社プロジェクトマネージャーと連絡を取り合いながら次なるPARADOXを模索していました。それが今回リリースするPARADOX PEARLです。

PARADOXの利点はオイルが多く感じられたとき、コンセプトである”Strong Continuous HOOK”を発揮させ、持続的に転がり曲り続けます。しかしその反面、使用できるステージが少ない傾向も見受けられたことです。「PARADOXの性能を幅広いコンディションで使い続ける」や「フランチャイズでもPARADOXの性能を如何なく発揮させる」それを可能にしたのが今回のPARADOX PEARLです。

投球したイメージは曲がり始めるパワーバランスが奥に移行していて、backendの動きにキレが増している感じです。相変わらずの手から離れた瞬間から転がるイメージはそのままでしたが、スキッド力が上がっているためMid Laneでの動き始めが奥にそのままパワーが蓄積され、放出されてるということになります。そのおかげで使用領域がかなり広がったというか、手前のオイル量に左右されるイメージが軽減されていて、今までのPARADOXの性能のイメージを変えずに長く使用できるのと同時に、Backendで攻撃性を感じるReactionは日本のボウラーを魅了することができると私は確信しています。初代のPARADOXで噛み上がりが早めに感じた方はこのPARADOX PEARLのイメージは絶大でしょう。

特記事項 PARADOXのイメージのままスキッド力を増やし、幅広いコンディションでの対応力を上げました。先での動きが増した為、入射角が足りない方や女性の方にも気に入って使用して頂けるはずです。